

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	伊万里市立南波多郷学館
-----	-------------

1 前年度 評価結果の概要	・本校の学校教育目標や重点項目について、保護者や地域の認知度が低く、周知や共有が徹底できていない。 ・義務教育学校開校3年目の「創造期」として、9年間の枠組みでの体制づくりを目指し、小学校と中学校の集合体ではなく「ひとつの学校」という認識が児童生徒・保護者・地域・教職員の間で高まってきた。
2 学校教育目標	「ふるさとを愛し、志をもつ児童生徒の育成」～ ふるさとに学ぶ ふるさとを学ぶ ふるさとの人と共に歩む ～
3 本年度の重点目標	①9年間の一貫した指導により、「学び」と「育ち」をつなぎ、各ステージの最上級生に求める姿を全職員で共有しながら、一人ひとりの個性と能力の伸長を図る。 ②南波多地域全体で児童生徒を育てていく、コミュニティ・スクールの仕組みを確立する。

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	主な担当者
---------------	------	--------	-------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践 ○基礎・基本の定着と活用力の向上	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上 ○授業中、自ら進んで学習活動(発表、交流など)に取り組む児童生徒が80% ○学習状況調査等での「活用力」の問題の結果を、県平均以上。	・教職員間でマイプランを共有するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。 ・日々の授業において、一人一人が思考・判断・表現する場や互いの思考を共有する場を設定し、その姿を見取り称賛していく。 ・「南波多メソッド」毎時間における「めあて」の提示と振り返りを徹底していく。			
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 ●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○道徳に関するアンケートにおいて、肯定的な回答をした児童生徒80%以上 ○いじめ防止等(いじめの定義、防止等)のための取組、事案対処等)について、組織的に対応ができていると回答した教員80%以上	・学校行事、体験活動ごとに個人の目標を立て実践、ふり返りをさせる。 ・あらゆる教育活動の中で、ほめる(認める)過程を大切に、自己肯定感や自己有用感を高める。 ・本校のいじめ防止対策基本方針をもとに、いじめの定義、認知、認知及び対応について共通理解を図り、全職員で対応する。 ・いじめの理解及び対応についての研修・会議を年間3回以上行う。							道徳教育推進教師 人権・同和教育担当者 各担任 生徒指導主事 各担任
●健康・体づくり	●運動習慣の改善や定着化 ○感染症予防教育の充実	●体育の授業以外(部活・社会体育・屋外など)で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童生徒80%以上 ○学校及び家庭生活において、手洗いなどの習慣がついている児童生徒90%以上	・運動能力調査の結果を分析し、種目を焦点化し、取り組ませる。 ・主に前期課程の児童には、天気の良い日は、(体調と気温等を考慮して)できるだけ外に出て遊ぶように担当が声をかけたり、保健委員会に呼びかけさせたりする。 ・全学年、発達段階及び時期に応じて保健指導を行い、知識と実践的態度の育成を図る。							体育主任 体育副主任 各担任 養護教諭 保健主事
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減 ○学校、家庭、地域での役割分担の明確化と実践	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限(月45時間)を遵守する教職員100% ○学校が行うべきことについて重点的に取り組み、その取組の達成感や満足度を感じる教職員90%以上	・定時退勤日の設定及び確実な履行 ・部活動複数顧問体制の充実 ・管理職による個々人の労働時間の確実な把握及び指導助言を行う。 ・コミュニティ・スクールの発足を機に、学校運営協議会等とおして役割分担を明確にし、学校がすべきことに集中して取り組める環境作りを行う。							管理職(教頭) 管理職(副校長)

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				○義務教育学校3年目「創造期」の完結	○9年間の枠組みでの体制づくり ○ステージリーダーを中心とした各ステージ経営の充実	○教職員のステージ経営の充実及び満足度90% ○各ステージの最上級生としての自信及び満足度90%	・ステージ経営方針に沿って、OJTを核とした共通理解と実践を図る。 ・すべての教科においてカリキュラムの見直しを行う。			
○地域とともにある学校づくり	○コミュニティ・スクールの周知と機能の充実	○教職員及び保護者、地域住民のコミュニティ・スクールのしくみや取組内容の認知度90%以上	・学校HPや学校だより、コミュニティ・スクールだより等を通して積極的に情報発信をし、周知および啓発を図る。 ・育友会の機能の活性化と充実を図る。							管理職(副校長)
○一人ひとりのニーズに応じた個別指導の充実	○特別支援教育の充実	○特別支援学級および通常学級において支援を要する児童生徒への指導・支援の教職員の満足度90%以上	・校内における児童生徒支援会議や関係機関を招聘しての職員研修を充実させ、「誰でもできる特別支援教育」を目指す。							特別支援教育コーディネーター

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	・ ・ ・
----------------	-------------